

はんなん夏祭り

今年もにぎやかで楽しい1日でした!

8月24日(金)はお盆過ぎに少し下がった気温もグッと盛り返し、暑い暑い中での開催でした。時間催しが危ぶまれた台風20号も、職員気合の賜物でしょうか、近畿を横断するも朝までには日本海へ抜け、曇天ながら雨の心配のない1日でした。

前日準備できなかった提灯などの取付けを行い、定刻通り正午過ぎから模擬店が開店。大人気、焼きそばやタピオカドリンクなどの飲食物や、お面、的当てなど子どもさんが喜びそうなもので、21の出し物が出店、会場となったE棟前広場は多くの人が集まり熱気いっぱいでした。

近年、本当に子どもさんが多いと感じますが、職員さんやご近所からお子さんを連れてこられる方も多く、そこで黄色い声の上がるにぎやかな1日でした。また広場に面した病棟は防音壁を作つて病室への騒音にも配慮しました。

14時半過ぎからはテイケアの紙芝居公演、15時からは恒例の「シャンテ」熊野さんと手話ボーカルの知子さんのコンサート、そしてこれ恒例の「迷探偵はんなん」バンドの演奏と、多くの観客を集める盛大な舞台でした。その頃には模擬店の商品が底をつき、買い出しに走る職場もちらほら。いつも以上にお客さんは絶えません。児童養護施設の子どもたちも大はしゃぎで、模擬店やコンサートを楽しんでいました。

夕刻からはやぐらを囲んでの盆踊り。人が多く、スペース的に踊る人は多くありませんが、浴衣でめいっぱい楽しんでる職員(?)もいて、盛り上がりは最高潮、といったところ。19時から、プログラム最後の花火の打ち上げ。台風の影響か風が強く、準備していた全てを打ち上げることはできませんでしたが、花火が上がるたびに声があがり、地域の方にも楽しんでいただきました。

- 基本方針**
- 人権を重んじ、患者さんやご家族の「こころ」に寄り添ったやさしい医療を提供します。
 - 質の高い医療を提供するため、すぐれた医療人を育てます。
 - 「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。
 - 地域の拠点病院として、保健・医療・福祉に貢献します。
 - 信頼される医療サービスを提供するため、経営の健全化につとめます。

2016.4.1 改定

院内花だより



菊

大輪の花や、スプレーマム、小菊など種類は豊富。9月9日は菊の節句(重陽)と言われ、日本では長寿を祈願する風習が残っています。

また、皇室の紋章であり、国花である菊は日本では古くから親しまれてきました。

- 開花時期は、10/20~12/20頃。平安時代に観賞植物として中国から渡ってきました。品種改良がおこなわれ、豊富な種類が私たちの目を楽しませてくれます。菊人形など関西では特に馴染みの深い植物の一つです。中国では不老長寿の薬効があると言われ、これが日本に伝わって菊の花を酒に浮かべて飲む風習が残っているとかが。
- 寒さにも強く、冬まで咲いています。

■外来診察表

外来診察時間 / 9:00~12:00(受付は11:30まで)

平成30年9月現在

	月	火	水	木	金	土
1 診	黒田	土井	濱田	横田	黒田	横田
2 診	花房	横井	松島	戎	横井	
3 診	松島	亀田	植田	白銀	茶谷	植田
4 診	田中	新井	岩井	京田	萩野	岩朝
5 診	佐野	山田	川村	加納	広田	松村
6 診	柴田	長谷川		吉川	小林	
7 診	山本		小深田	久保	久馬	小深田
8 診	熊取谷	橋本	西村	河野		熊取谷
9 診	上坂	柏木		大浦	土井	安藤
診(心)			中井			

*医師の急な都合により、変更・休診となることがございますので、予めご了承ください。

〈ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします〉

専門外来(睡眠・児童・往診・女性・口腔)は予約制です。

医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。

受診の前にお電話ください。

TEL.072-278-0381 FAX.072-281-6615



診療科目

精神科 / 心療内科 / 児童精神科 / 内科 / 歯科 / 小児科 / 放射線科 / 神経内科

病床数

- EPU(精神科救急)病棟 212床(C1,E1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 30床(D1病棟)
- 亜急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 60床(D2病棟)
- メンタルケア(精神科急性期治療)病棟 35床(E3病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 53床(H1病棟)
- 精神療養病棟 60床(F3病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

関連施設ご紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあいサテライト「浜寺石津」 ☎072-279-1631
- グループホームあんずの郷 堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい 堺市中区深井沢町3324 FUKAIビル1F ☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506
- 医療福祉相談室(直通) ☎072-278-3768
- 就労移行支援事業所 エンワーク 堺市中区深井清水町3544-3 アンシャンテ深井1F ☎072-270-3318
- 居宅介護支援事業所 ☎072-278-0488

病院周辺での秋祭りの日程

■周辺秋祭り日程とマイクロバスの運行について

地区	試験曳き	秋祭り
小阪・久世地区	9月23日(日)	10月6日(土)~7日(日)
津久野地区	9月23日(日)	10月5日(金)~7日(日)
深井地区	9月23日(日)	10月6日(土)~7日(日)
八田西町地区	10月14日(日)	10月20日(土)~21日(日)
八田荘地区	9月30日(日)	10月19日(金)~21日(日)

津久野駅は秋祭り期間中、駅前で行われるパレードのため、10/5は13:00~17:00、10/6は12:00~最終便の発着場所を変更いたします。いつもの発着場所には職員が立って誘導いたします。深井便は小阪・久世地区、深井地区の日程10/5~6、10/19~20において周辺道路の交通規制のために全便に遅延の可能性があります。いずれの日程もご来院の際は余裕を持ってお越しください。

秋の地域活動

暑い夏を超えて、グッと秋らしい気候になってきました。あっという間に秋を迎えますね。さて、当院では精神科医療を中心に病院をあげて様々な取り組みを行い、地域活動もその一環としてとらえています。例年、秋には多くの地域活動に参加しています。11月の以下のイベントには医療相談や救護班として参加予定です。お近くにお越しの際は是非、のぞいていただければ幸いです。

イベント名	日時	場所
堺市西区 ふれあい祭り	11月10日 10:00~	西区役所、 西文化会館(ウェスティ)
堺市西区 ふれあい祭り	11月11日 10:00~	西原公園グランド・ 南区役所・桐文化会館
大阪府共に生きる 障害者展	11月17日・18日 10:00~	障害者交流センター ビック・アイ(泉ヶ丘)



2017共に生きる障がい者展



2017西区ふれあい祭り

エコへの取り組み



秋らしい気候になってまいりましたが、今年は猛暑という言葉がぴったりの暑い夏でした。

さて、当院では季節を通して、エコ活動を実践しております。一部外来エリアでは、蛍光灯の間引きをしたりしておりますが、患者さんにはご負担をかけないように、職員エリアのエアコン温度の設定や、ライトダウンの設定など行っています。夏祭りではエコチームからうちの配布もさせていただきました。また、夏期5月から9月までは夏エコキャンペーンとし、いつも以上のエコへの心がけをしています。

病院という、特に電気使用の多い施設だからこそ、より地球環境に配慮した取り組みが必要だと考えます。待合へのポスター掲示もしております。

ご理解、ご協力の程お願い申し上げます。



当院は敷地内完全禁煙です

薬物依存症集団療法

薬物依存症を対象とした集団療法が始まっています。

当院は平成29年度の大阪府のモデル事業「大阪府版認知行動療法プログラム(ぼちぼち)」の実施を機に治療プログラム実施の検討を続けてきましたが、この度、治療を開始いたしました。



グループ名 「ぼれぼれ」

対象 当院通院患者さん、もしくは退院後当院へ通院予定の入院患者さん

実施チーム 必要な研修修了者である医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士
チームで対象者を確認し、主治医からご本人へ照会、治療意志が確認されたら導入へ向け進めていきます。

お問い合わせ 医療福祉相談室

「ぼれぼれ」はスワヒリ語の「ぼちぼち、ゆっくり」という意味であり、その名の通り、じっくりと、患者さんと向き合っていくと考えっております。



認知症初期集中支援チーム

「認知症初期集中支援チーム」(以下支援チーム)は、介護や医療の専門家によるチームです。「認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)」に掲げられている7つの柱のうち、「認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供」を実現するため誕生しました。堺市では当院同様、堺市指定認知症疾患医療センターを持つ浅香山病院のチームが活動していますが、この度、当院も堺市から委託を受け、認知症初期集中支援チームを立ち上げるようになりました。10月より稼働します。

支援の内容としては、ご家族や周囲の方からの訴えを受けて、認知症が疑われる人を訪問します。その上で、認知症かどうかの評価や適切な受療援助、そして家族支援など初期の支援を包括的・集中的(概ね6ヶ月)に行い、自立生活のサポートを行います。チーム員は医師、看護師、精神保健福祉士で構成されます。主として、地域包括支援センターからの依頼を受けて訪問、チーム員での会議などを経て初期集中支援を地域包括支援センターと並走して実施、終了後は地域包括支援センターやケアマネジャーに引き継ぎを行うという流れです。

認知症疾患医療センターに加え、認知症初期集中支援チームを組織することで、より地域に貢献できる体制を作り上げていきたいと考えます。

